

今回の一般質問 1

新型コロナワイルスワクチン

接種を望む人がスムーズに接種できる体制づくり

1 ワクチン接種の見通し

小柳

どの程度のワクチン量が確保できたのか?
いつまでの完了を目指すのか?

保健衛生部長

12歳以上の市民の94%が接種できる
ワクチン量を確保した
希望する人の2回目接種を11月末まで
に完了できるよう体制をつくる



2 若い世代の接種について

小柳

9月から若い世代の予約が始まったが、集団接種の予約が埋まっており下記の対応が必要

- ① 集団接種会場の増設
- ② 職域接種のキャンセルへの対応
- ③ 個人接種を受けやすい体制づくり

保健衛生部長

- ① 集団接種会場の増設
▶予約状況を見て検討（その後11,582人増設されました）
- ② 職域接種のキャンセルへの対応
▶市内の希望者が接種できるよう対応
- ③ 個人接種を受けやすい体制づくり
▶予約サイトを見やすく利用しやすいよう改善

【集団接種の予約開始日】
40~49歳 9/1
30~39歳 9/4
12~29歳 9/7



新潟市 ポータルサイト

3 今後想定される事態への対応

小柳

国の方針決定を待つのではなく、先手先手での準備、対応が必要だ

- ① 移動制限の緩和、ワクチンパスポート
▶経済支援策、窓口サービスなどを検討すべき
- ② ブースター接種（3回目接種）
▶高齢者接種での混乱を反省材料として、上越方式を参考に準備すべき

保健衛生部長

- ① 移動制限の緩和、ワクチンパスポート
▶すぐに対応できるよう、全部局でできることを検討する
- ② ブースター接種（3回目接種）
▶実施が決定した際は混乱なく接種できるよう具体的な手法の検討を始める

上越方式とは？

接種日程を行政側が指定し、対象者に郵送にて通知する方法。指定の時間帯が難しい場合は役所に連絡し調整する。

予約が集中しない、スピード感のある対応が可能な点が利点として挙げられる。

補正予算事業の一部抜粋

今回の一般質問 2

8月23日の大雨による避難指示での対応状況

小柳

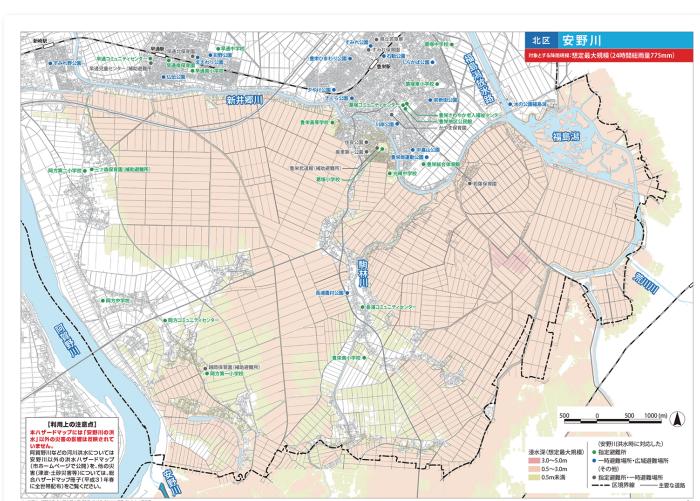
避難基準が変わり、初の警戒レベル4避難指示が発出されたが、避難人数が少なかった。今後の対応は？

危機管理防災局長

取るべき行動がわからず避難行動に結びつけられなかつたとの声、対象地域がわかりにくいとの声も頂いた。分析し今後の情報配信を工夫したい。



	北区	江南区	秋葉区	合計
対象者	4,942名	68名	15,624名	20,634名
開設避難所数	19箇所	2箇所	15箇所	36箇所
避難者数	9名	0名	2名	11名



河川ごと（加治川、阿賀野川、新井郷川・福島潟、安野川、太田川）の浸水想定が策定されていますので、ハザードマップで今一度ご確認ください。
ハザードマップは区役所でも配布しております。



北区版洪水ハザードマップ

Oh!弁当で地域のお店応援事業



消費者の購入する弁当の一部を飲食店へ補助し地域のお店を応援します。

- 予算額 1.5億円
- 金額 3,000円以上の商品に上限2,000円を補助
- 対象 5人以上（企業、団体以外の個人も対象）
《11月から利用開始》

宿泊事業者緊急支援事業



市内で感染症対策を行いながら宿泊施設を営む事業者に対して収容定員数に応じた支援金を支給します。

- 予算額 9,500万円
- 対象 市内140事業者
- 金額 規模に応じ10万円～200万円

バス・タクシー事業者緊急支援事業



昨年6月の支援策の第二弾として、感染症対策を行いながら公共交通を確保維持している事業者に支援金を支給します。

- 予算額 1.3億円
- 対象 市内15事業者
バス事業者 ○金額 1台10万円×所有台数+50万円
- 対象 市内30事業者
タクシー事業者 ○金額 1台4万円×所有台数+25万円

———— 市政へのご意見をお聞かせください ————